



## IV 林政連絡会議・地域林政連絡会議

(林政連絡会議・地域林政連絡会議の開催について)

民国が一体となって取組を進めていくため、北海道及び北海道森林管理局は林政連絡会議を、北海道総合振興局又は振興局及び森林管理署等は地域林政連絡会議を開催し、具体的な取組について検討・調整を図るものとしています。

平成26年度は、北海道と北海道森林管理局で3回の林政連絡会議を、各地域では、(総合)振興局と森林管理署との間で地域の林政連絡会議を開催しました。

**【十勝地区林政連絡会議】(十勝総合振興局・北海道森林管理局帯広事務所・十勝東部森林管理署・十勝西部森林管理署・東大雪支署)**

平成26年7月23日に十勝西部森林管理署大会議室において、第1回十勝地域林政連絡調整会議を開催しました。

十勝総合振興局森林室長、林務課長ら、国有林から北海道森林管理局帯広事務所長、十勝東部森林管理署長、十勝西部森林管理署長、東大雪支署長らが参加しました。

会議では、まず、振興局が、民有林において今後、積極的に取り組む列状間伐の現状と課題等について報告しました。その後、十勝東部署が、列状間伐を推進する取り組みについて紹介しました。そのほか、振興局が「市町村の森林・林業現況」「森林認証の取組み」「造林助成金制度」等の説明をし、国有林側から「平成26年度森林管理局の主な取組」「国民参加の森づくり」「伐採・造林一貫作業の取組み」等の話題提供を行い、活発な意見交換が交わされました。さらに、振興局から「十勝地域林道連絡調整会議設置要領」の提案がなされ、全員一致で採択しました。今後、民・国連携した、路網整備が図られていくものと考えられます。

今回は、現地視察(列状間伐の現場)を行うことを計画しています。



会議の様子

**【胆振地区民有林行政実務の見学会】(胆振総合振興局・胆振東部森林管理署・北海道森林管理局)**

平成27年3月19日に苫小牧広域森林組合において、「民有林行政実務の見学会」を開催しました。

当日は胆振総合振興局森林室職員をはじめ、森林管理局職員、胆振東部署職員が参加し、まず、チップ工場とO&Dウッド(高耐久処理木材)生産施設を見学しました。昨年の11月に完成したチップ工場では、生産ライン上にグラブを設置、チップパーにスムーズに送り込めるよう選別して、チップ生産を行っていました。その後、O&Dウッド生産施設へ移動し、素材の加工ラインや、薬剤の加圧注入工程の説明がありました。O&Dウッドは耐用年数が長く、さらに施工日数がコンクリートを使用するよりも短いというメリットがあるので、胆振東部署でも実際に使用されています。

次に、苫小牧広域森林組合の会議室にて民有林行政実務の説明をおこない、事前に提出していた質問をもとに活発な意見交換が交わされました。

最後に、実際に作業中のカラマツ人工林の皆伐箇所に移動し、作業工程等の説明を受けました。皆伐の作業現場を見るのは初めての職員もあり、現場説明に熱心に耳を傾けていました。



カラマツ人工林の皆伐箇所見学